

# なのhana たより

NANOHANA  
DAYORI

老健ちば

No. **79**

April 2015



オレンジガーデン・ケアセンター 「春の観桜会」

## INDEX

①  
②  
トレンドTOPIX 潮流  
ちばついでつう  
〈ニュースウォッチ〉

2015年度介護報酬改定

「フォーカス」老健ちば

〈管理者研修会報告〉

③  
④  
〈特集 こうほうレポート〉

「我孫子ロイヤルケアセンター」

〜通所リハビリテーションにおける  
終末期ケアの取り組み〜 について



⑤  
⑥

〈研修会報告〉

自由気ままに

ペーパーブログ

「湯船につかる  
〜温泉めぐり〜」



介護老人保健施設 ロータスケアセンター

熊谷 智宏

事務局の新人職員です！

広報委員会からのお知らせ

⑦

〈なのhanaスマイル〉施設の笑顔紹介

●シルバークイラ大森

●千の星松戸

〈編集後記〉



<http://www.chiba-roken.jp/>

平成27年4月21日 発行

# トレンド TOPIX 潮流

ちょうりゅう

ニ  
ユ  
ー  
ス  
ウ  
オ  
ツ  
チ

## 2015年度介護報酬改定

在宅復帰に強い老健施設を優遇

介護老人保健施設の基本報酬は、他のサービスと比較すると引き下げ幅は小さいが、2012年改定で新設された在宅強化型老健施設は1.6%、通常型の老健施設は3.0パーセント引き下げられた。この下げ幅の差にも見られるように、2012年度改定から引き続き、老健施設は在宅復帰強化を促す内容だ。そして、在宅復帰率30%超などが要件の在宅復帰在宅療養支援機能加算も1日21単位から1日27単位へと6単位引き上げられた。

加算では入所前後訪問指導加算（1回460単位）が見直された。新設の（Ⅱ）は1回480単位と従来より20単位引き上げられ、退所計画の策定や診療方針の決定に当たり、生活機能の具体的な改善目標を定めると共に、退所後の生活の支援計画を策定した場合に算定できる。

通所リハビリテーション「漫然リハ」からの「卒業」を促す

今改定で将来の再編に向けた大きな歩を踏み出す。医療保険のリハビ

口腔・栄養関連加算は増収要因に

施設サービスに共通する経口維持加算や経口移行加算などは、算定要件などを緩和する方向で見直され、厚労省は従来の栄養管理を主眼にした加算

リの延長で身体機能の訓練だけを行うのではなく、生活期リハビリの観点から利用者の状態を定期的に把握し、アセスメントに基づき日常生活の継続に向けた目標の設定と達成を図り、社会生活を促すという介護保険本来のリハビリへの原点復帰を目指すのが厚労省の基本方針だ。報酬面ではリハビリテーションマネジメント加算が通所・訪問リハビリの双方で再編された。

の体系を「口から食べる楽しみの支援」へ転換し口腔関連の取り組みを評価する加算に再編された。

### 改正内容を踏まえ、点検すべき主なポイント

- 経営への影響度を把握
  - ・基本報酬の引き下げ、加算類の見直し等に伴う減収・増収分の把握
- 資金繰り対策
  - ・赤字転落で資金ショートに陥らないかなど資金繰りを確認
  - ・必要ならば金融機関などから資金調達
- 人員配置の見直しや労務面の対策
  - ・人員配置の見直し
  - ・残業時間の短縮など労務コスト削減への取り組み
  - ・介護職員処遇改善加算への対応
- 増収策の検討
  - ・利用者数や稼働率のアップなど増収策の検討・実施
  - ・算定可能な加算の調査、算定要件を満たす取り組みの実施
- 連携先の確保、営業活動
  - ・居宅介護支援の特定事業所集中減算（80%ルール）への対策
  - ・ケアマネジャーや病院の医療ソーシャルワーカーなどへの営業強化
  - ・事業者間連携の模索



# フォーカス 老健 ちば



## 管理者研修会報告



介護老人保健施設  
ウエルケア新吉田 事務長  
漆間 伸之 氏

平成27年1月21日(水)、京葉銀行文化プラザ7階「椿」において34施設40名の参加の下、平成26年度管理者研修が開催されました。

平山会長の挨拶の後、千葉県保健医療担当部長の古元重和氏より『地域包括ケアの推進に向けた取り組みについて』と題し、千葉県の老健を取巻く現状と平成27年4月介護報酬改定に伴う今後の状況についてお話を頂きました。古元様曰く、「千葉県の老健は、在宅復帰支援の介護報酬取得施設数(強化型5施設と加算型24施設)が他県と比べて少ないと感じます」とのこと。また、医療介護の連携強化として消費税増収分を活用した新たな基金が都道府県に設置されたことに触れ、今後老健に期待したいこととして①在宅復帰支援機能の強化、②地域の拠点としての在宅介護サービス等の積極的な展開、③市町村、地域の医療・福祉関係者との連携と協力を挙げられました。



次に損保ジャパンの橋本勝氏より『施設におけるリスクマネジメント』と題し、具体的な判例を交えてお話し頂きました。橋本氏は「介護施設の訴訟は人と人との問題が多いため、互いの主観の違いで大きな問題に発展しかねない」と指摘され、中でも「結果回避義務違反(予見できた損害を回避すべき義務を怠ること)に着目されていました。また訴訟問題を避けるための方策として、危険を予知する能力の育成(ヒヤリハット等の活用)、事故が実際に起きた場合の対応、そして記録の重要性を指摘さ

れていました。特に記録については、日付はもちろん、時刻を記録することが重要であり、時系列の対応を説明することで問題が大きくなるのを回避することができ、対応した職員の身を守ることもつながると述べられていました。

最後に神奈川県にある(老健)ウエルケア新吉田の漆間事務長より『介護報酬改定の動向』についてお話を伺いました。漆間事務長は、全老健協会の第114回分科会(平成26年11月13日)で、在宅復帰後の居宅支援(通所系)について、個別リハを廃止して基本報酬に包括し、活動と参加に焦点を当てた生活行為向上リハの新設等を検討しているとの話があった事を報告。最後に「地域包括ケアの中核としての老健施設を目指し、他職種協働による質の高いサービスの提供と施設全体のソーシャルワーク技術の向上に向けて頑張りましょう」と参加者の皆さんにエールを送られていました。

その後の懇親会では参加者同士の親睦と意見交換が図られ、和やかに閉会致しました。

※文中の規定、制度等は平成27年1月21日時点の情報によるものです。



# 「我孫子ロイヤルケアセンター」 ～通所リハビリテーションにおける 終末期ケアの取り組み～について

今回、広報委員は平成26年度研究事例発表大会において優秀賞を受賞された我孫子ロイヤルケアセンターに「通所リハビリテーションにおける終末期ケアの取り組み」について取材と見学に伺いました。当日は、菊池看護部長さん、雨宮主任さん、そして研究事例発表大会で発表された岡田康宏さんにお話を伺いました。

通所リハビリテーションにおいて終末期の方の利用は様々な思いがあったと思います。ここに職員の方々がどのような思いで取り組んできたかを、ご紹介いたします。

## この課題に取り組んだ きっかけは？

通所リハビリテーションに100歳の女性が続うことになりました。利用を続けていくうちに、全身の痛みが増強し、食欲も低下していき、終末期が近づいている状態に陥っていくそのような状態で通所リハビリテーションを利用するA氏との関わりの中で、職員が様々な思いを感じていました。その思いを明らかにし、今後のケアのあり方を考えることとなりました。

## 方法

対象：通所リハビリテーション介護職員11名

1)ブレインストーミング法にて職員の思いを出し合う。

2)BS法で出た思いをKI法でまとめる。

分析方法

KJ法でまとめた介護職員の思いの中から重要なものを導き出す。

## 経過

- KJ法で16のキーワードに絞り込む
- 1 家族の思い
  - 2 本人の思い
  - 3 本人の性格
  - 4 おしゃれ
  - 5 スタッフの思い
  - 6 不安
  - 7 他者との関わり
  - 8 レクリエーション
  - 9 悩み
  - 10 誕生日
  - 11 食事
  - 12 排泄
  - 13 送迎
  - 14 入浴
  - 15 身体機能
  - 16 移乗

その中でレクリエーション、入浴、他者との関わりと言う3つのキーワードに着目。なぜ3つの重要がレクリエーション、入浴、他者との関わりだったのか？特にA氏との関わりや印象が強いものだったからです。

- レクリエーション
  - ↓ 歌に対する強い思い「みんなで歌うことの楽しさ等」
  - ↓ 白寿の誕生日に何か出来るか？という思い。
  - ↓ 昔はとても好きだったし利用当初も好きだった。
- 入浴
  - ↓ 体の痛みとともに、辛くなってきたという変化。
  - ↓ 配席の配慮、A氏自身よく気が付く方であった。
  - ↓ 周りの利用者からしてもお母さんの存在であった。
- 他者との関わり



■対象：通所リハビリテーション介護職員11名  
■期間：2014年5月～8月





取材風景



平成26年度研究事例発表大会にて優秀賞を受賞



終末期ケアとして彼女や家族の望むケアを行えたかとの思いは残りますが、ドレスを着て白寿のお祝いができたこと、皆で彼女が大好きだった「知床旅情」を合唱したこと。伸びのある声で歌う凛とした彼女の姿が思い出されます。皆に愛された利用者でした。

### 「今回の研究を通して」

A氏、担当 石村 和子さん



### Aさんを担当された職員の感想

◎「できる限りのことはした」と言えるにはアセスメントの重要性、本人の思いに添えるような関わりの重要性、家族から信頼されるような関係づくりなど、基本的なことを大切に、固定チームで実施している。受け持ちスタッフをはじめ、チームケアで個別性の高いケアを目指していければと思います。

### 今後の課題として

◎本人との十分な関わりが持てたか？  
◎家族との十分な関わりが持てたか？  
◎「何ができるか」に着目はできた。  
◎「できる限りのことはした」と言えるにはアセスメントの重要性、本人の思いに添えるような関わりの重要性、家族から信頼されるような関係づくりなど、基本的なことを大切に、固定チームで実施している。受け持ちスタッフをはじめ、チームケアで個別性の高いケアを目指していければと思います。

### 職員の思い

A氏に対する職員の思い



### ■我孫子ロイヤルケアセンター

住所 我孫子市中峠2614 電話04-7181-5611  
開設 平成10年10月  
定員 入所150名 通所50名



# 研・修・会・報・告

## リスクマネジメント研修会

平成27年1月22日(木)、千葉県教育会館を会場に「リスクマネジメント研修会」が開催されました。介護・福祉系法律事務所「おかげさま」の代表の外岡潤弁護士を招き「介護トラブルの予防と対策」の講義をして頂き、介護老人保健施設に勤務する管理職や一般職員31施設47名の参加がありました。前段は介護トラブル・介護裁判の実態がどうなっているのか?を中心に、「日常で起きる細かなトラブルにどの様に対応すべきなのか」「大きなトラブルになってしまった場合にどの様に対応すべきなのか」を事例を織り交ぜ



ながらお話しいただきました。昼食を挟んだ後の後段にはグループワーク「謝罪訓練」を2回行い、参加者が「施設側」「利用者・家族側」の立場でクレーム対応を体験しました。  
シビアな内容の研修でしたが終始和やかな雰囲気や質問や笑顔が多く見られた研修となりました。



## 第2回 支援相談員部会報告

平成27年2月12日(木)、プラザ菜の花にて開催されました。



梅花苑  
相談員  
中西 早百合

1回目同様に「在宅復帰への取り組み」をテーマとし、介護老人保健施設おゆみの事務次長・支援相談員稲葉健太郎様に講師を依頼し、施設での取り組みについてお話をいただきました。在宅復帰強化への取り組みから在宅復帰強化型老健達成までの経過をわかりやすく紹介して下さいました。

当日参加された施設でも強化型は全体の10%にも満たず、圧倒的に従来型老健が多いことがわかりました。その理由として、稼働率低下をもたらすのではないか、医療依存度の高さ、ご家族の同意が得られない、職員間の温度差など多数挙げられました。それでも強化型を目指す老健としての役割を一生懸命模索し、達成できるまでの取り組みの内容がとて意欲になりました。他職種と会議を持つこと、最大限のリハビリを提供できるようなスタッフの体制づくり、申し込みの段階からの退所に向けての援助、新規受け入れの対策、ショートステイの活用などを学びました。支援相談員としてやるべき使命がそこに存在します。積極的に取り組むためには、随時課題と向き合い取り組むことの大変さも感じとれました。  
今回学んだ内容を今後の業務に反映できたらと思っています。多くの質疑応答もあり、とても有意義な時間が持てました。

**AQUA**  
Life is Precious.

**【業務用洗濯機・乾燥機】**

**耐久性、長期使用など経済効果も抜群!**

全自動洗濯乾燥機

**洗濯乾燥 15kgタイプ**

設置スペース約半分!  
洗濯物の移し替え不要!

その他機器も  
お問合せ下さい。

高濃度クリーン洗浄で洗剤の  
パワーを引出ししっかり洗浄

高濃度  
7.0

MCW-C70

ステンレスドラムで  
清潔乾燥

容量  
4.5

MCD-CK45

**お問合せ・ご用命はお気軽に!**

**systems 株式会社サンヨーシステムズ**

エコソリューション営業部 担当:榎本

〒110-0005 東京都台東区上野5-3-1

TEL:03-3833-1231

<http://www.sanyosystems.co.jp/>

当社取扱商品:オゾン消臭機器  
家電・空調・冷凍機・太陽光発電・ランドリー機器



# 『湯船につかる 温泉めぐり』

介護老人保健施設 ロータスケアセンター 熊谷 智宏

私は定員30名の通所リハビリテーションの支援相談員と介護業務に携わり日々仕事をさせて頂いています。日頃より心身ともに健康でいる事が、自身のモチベーションにも利用者の対応にも繋がるのではないかと休日は好きな事をして過ごすごことを心がけています。

趣味と言えるほどのものはありませんが、近頃はシャワーですませてしまいう人も多い中、私は無類の風呂好きです。車を手に入れてからは、時間があればふらっと一人伊豆や長野などの観光地に赴いては、観光せずただ温泉につかって

いる事がほとんどです。途中諏訪湖SAで温泉を見つけ、また30分程入湯し帰路に着いたこともあるくらいです。じつくりと湯につかることでまた明日からの生気を養い、何も考えずただ湯につかることが幸せだなあと感じています。楽しみ、リフレッシュする事で、気持ちにも体にも余裕が持てます。



どの事業所においても利用者層の重度化やニーズの多様化が進む中、多方面に配慮し対応する事が求められています。休日の過ごし方が仕事にも影響しますので、これからも温泉、仕事共に楽しんでいきたいと思

います。今年の冬はぜひ、雪の秘湯を目指して北に車を走らせようと考えています。



## Information

### 事務局の新人職員です！



漆原 明美

この度、千葉県老人保健施設協会、事務局で働くことになりました漆原明美です。事務局の仕事は、初めてなのでわからないことが多く、皆さんに教えて頂くことばかりで一つ一つ勉強中です。毎日覚えるのに必死ですが、新しい事を覚える事は新鮮でとても楽しいです。事務局のみなさんもととても良い方ばかりで働きやすい職場でよかったです。

先日、研修委員さんの会議に参加させて頂きました。研修委員さん達の意欲と熱意に驚かされました。研修委員さんの企画した研修の実施に向けて、事前準備、当日の会場運営全般のお仕事をできるだけ早く覚えて、少しでもお役に立てるように頑張りたいと思います。皆さんとは、研修会の受付でお会いすると思いますが、名前と顔を覚えて頂ければうれしいです。最初は、不慣れでご迷惑をおかけすると思いますが、どうぞ宜しくお願いします。

### 広報委員会からのお知らせ

本紙「なのはな」より「76号」で紹介した、はつらつリハビリセンター様の「褒め合い活動」が、新潟県老人保健施設協会発行の広報誌「老健新潟第37号」に特集記事で掲載されました。

## 福祉車両のプロフェッショナルにお任せください。



URL: <http://www.ingenious.co.jp>  
TEL: 048-257-2948

### ～ 営業内容 ～

- ▶ 福祉車両の販売・リース
- ▶ 架装部のメンテナンス
- ▶ 車検・点検・修理・板金塗装
- ▶ 各種損害保険
- ▶ 福祉車両の代車・レンタカー



福祉車両のどんなことでも  
**インジニアス株式会社**  
〒332-0031 埼玉県川口市青木 3-12-11



# たのしいな スマイル

明るく! 元気!

施設の笑顔をご紹介します!



## ■ ヴィラ大森

住みよさランキング3年連続1位の印西市に平成7年に開設し20年を迎えることが出来ました。医療・看護の充実が自慢です。「心のかよい合いを大切に」をモットーに笑顔にあふれた日々を利用者様・ご家族様に提供できるように頑張っています。

住 所：印西市大森2218-1  
電 話：0476-42-8864  
開設日：平成7年2月17日  
入 所：78名  
通 所：20名

ひとりでは出来ないことも仲間がいれば心強いです。笑顔を決やさず明るさをモットーに頑張っています。

●ヴィラ大森  
左より  
(介護福祉士 鈴木佑輔)  
(介護職員 樽屋知可子)  
(介護福祉士 鈴木敦士)



## ■ 千の星・松戸

季節の花々に囲まれた施設です。利用者様のご要望を取り入れたイベントを開催し、アットホームな雰囲気でもとても好評です。私達は利用者様とご家族に安らぎと楽しみのある生活を送れるよう支援し、安全で安楽なケアを提供するよう自己研鑽し技術向上に努めています。

住 所：松戸市串崎新田189-4  
電 話：047-394-7811  
開設日：平成18年9月1日  
入 所：100名  
通 所：30名

私たちはチームケアを主とし、相手の思いや考え方を尊重し在宅復帰を目指すケアを心掛けています。



●千の星・松戸  
手前から(介護職員:玉浦則和)(介護福祉士:富田光一)(介護福祉士:伊藤 肇)

## ●編集後記

●介護保険改正に伴い、ますます厳しい状況となりました。当施設の周辺は、ここ数年で特養、老健、サ高住、有料と立て続けに開設ラッシュで、待機者確保も職員確保もままならない状態です。そんな中、先月、家族会を開催いたしました。ご家族とのコミュニケーションを密にして在宅復帰を推進するのが目的ですが、まだまだ在宅復帰施設への道はほど遠い〜…実感です(//´o`)=3(坂本)

●平成27年度もスタートして花開く頃、介護報酬も改定されてお忙しい日々をお過ごしだと思います。この広報誌を作成している時期(2月)には「介護施設は▲5%減額から▲2.27%減額で落ち着きそう」等という話しが飛び交っている状況で、「介護報酬▲5%減額じゃ無くて良かった〜」等と感じてしまう私がいま。でも、「まさか、これは交渉術でよく使う手法では？」な〜んで考えてしまう自分もいます。「そもそも何故、介護報酬改定の度に介護施設の減額が当たり前になっているのだろう?」と感じてしまう今日この頃です…(´-`)(福田)

●そうなんですよね、福田さん! とどのつまり、行き着く先は国の財源の問題になってしまうので仕方ない?のかも…。介護保険政策における中長期的ビジョンは掲げられているものの、それに対するインフラ整備は益々遅れていくような感を持っています。ちなみに、15年前の介護保険制度スタート時と今とで、入所者一人当たりの一日単価が200単位近く下がっているのには驚きます。もちろん、加算制度等を加味すれば単純比較は出来ませんが…。とにかく愚痴を言っても進みません。利用者様の笑顔を糧に日々の仕事を頑張っていく事が大事ですネp(´∩`)(斎藤)

●介護報酬改定が行われ新しい年度がスタートしました。特に通所リハビリにおいては日々試行錯誤しております。そんな中、地元では包括支援センターを中心に通所サービス事業所連絡協議会を立ち上げました。市内35ヶ所の通所系の集まりなのですが、なんとそちらも役員になってしまいました…(□\_□)!!(神作)

●春ですね。外出が楽しい季節です。冬の寒さで控えめにしていたことを思いつき楽しもうと計画しています。私が暮らす南房総は一早く綺麗な花畑がにぎわっています。皆様! 南房総へ遊びに来て下さいね。美味しい食べ物も沢山ありますよ(o^▽^o)(若林)

●寒かった冬も終わりのよいよ桜の季節がやってきました(花粉の季節も)。仕事もそこそこみんなでお花見にでも繰り出したいと思いますが、改定対応に追われて難しそうです。仕事上での冬はまだまだ終わらなそうです。はたしてこの号が出ている頃には春になってくれているのでしょうか…。今年度も宜しくお願い致します(へ´)(河野)

●介護報酬の改定の申請手続きがようやく落ち着いた頃でしょうか。桜も散り、これから新緑の時期ですね。この頃、自転車でサイクリングに行くことが増え、よく近くの公園に出かけています。今まで見えていなかった新たな発見もあり楽しみが増えました。是非、千葉市内周辺で良いスポットがありましたらご連絡をお待ちしております(\*^\_^\*)(佐々木)